



平成 23 年 7 月 29 日

各 位

会 社 名 ク ロ ス プ ラ ス 株 式 会 社
代 表 者 名 代表取締役社長 森 文夫
コ ー ド 番 号 3 3 2 0
上 場 取 引 所 東証・名証(市場第二部)
問 合 せ 先 執行役員経営企画室長 山本 大寛
電 話 番 号 052-532-2211(代表)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 23 年 3 月 11 日に公表しました平成 24 年 1 月期第 2 四半期(累計)(平成 23 年 2 月 1 日～平成 23 年 7 月 31 日)及び通期(平成 23 年 2 月 1 日～平成 24 年 1 月 31 日)の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 24 年 1 月期第 2 四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成 23 年 2 月 1 日～平成 23 年 7 月 31 日)

	売 上 高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経 常 利 益 (百万円)	四半期純利益 (百万円)	1 株当り 四半期純利益 (円)
前 回 発 表 予 想(A)	36,000	△900	△850	△850	△116.15
今 回 修 正 予 想(B)	35,000	△1,950	△1,900	△1,300	△177.65
増 減 額(B-A)	△1,000	△1,050	△1,050	△450	—
増 減 率(%)	△2.8	—	—	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 23 年 1 月期第 2 四半期)	35,863	△1,340	△1,180	△795	△108.64

2. 第 2 四半期累計期間業績予想修正の理由

第 2 四半期累計期間の当社グループの業績は、第 1 四半期に起きた震災の影響により厳しい状況で推移しました。5 月以降での業績回復を見込んでおりましたが、回復が当初の見込みよりも遅れたことから、連結業績予想数値が前回発表予想を下回る見込みとなったため上記のとおり修正いたします。

売上高は、震災により S P A グループの主力店舗を中心に商業施設の集客数が減少し、春物商品の実需期に販売機会ロスが生じたことから、特に渋谷 1 0 9 系 S P A 事業が苦戦し、350 億円の見通しとなりました。

営業利益は、S P A グループでは売上減少とセール販売比率の上昇、製造卸売グループでも春物及び初夏物商品の実需期での販売不振により、売上総利益が不足した結果、営業損失 19 億 5 千万円の見通しとなりました。この結果、経常損失 19 億円、四半期純損失 13 億円の見通しとなりました。

3. 平成 24 年 1 月期連結通期業績予想数値の修正(平成 23 年 2 月 1 日～平成 24 年 1 月 31 日)

	売 上 高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経 常 利 益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1 株当り 当期純利益 (円)
前 回 発 表 予 想(A)	81,500	700	800	100	13.67
今 回 修 正 予 想(B)	81,500	500	600	100	13.67
増 減 額(B－A)	—	△200	△200	—	—
増 減 率(%)	—	△28.6	△25.0	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 23 年 1 月期)	80,378	102	343	△260	△35.61

4. 通期業績予想修正の理由

当社グループでは業績回復に向けて売上拡大のための施策に取り組むとともに、引き続き経費削減に努めてまいります。当社グループは、下期の収益比率が高いこともあり、8 月以降での業績回復を見込んでおりますが、上期の業績不振を全て挽回するまでには至らないことから通期の連結業績予想を上記のとおり修正いたします。

事業部門別の状況は、製造卸売グループでは引き続き得意先との協業による売場提案型のトータルコーディネート販売の強化を進めており、得意先からの受注状況も順調に推移しております。SPA グループでは直営店舗売上の回復に努め、催事店舗の活用による売上確保を行うとともに、不採算店舗の撤退など収益改善に取り組んでまいります。

以上

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は今後の様々な要因により予想数値とは異なる可能性があります。